

調 査 の 結 果

調査結果の解説

1 電話d e 詐欺に関する県民の意識について

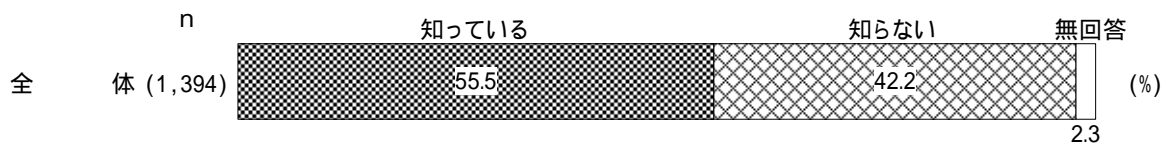
(1) 名称の認知度

「知っている」が5割台半ば

急増する電話d e 詐欺の被害を防止するために、県警や県では様々な広報方法を使って県民に電話d e 詐欺に関する情報を提供しています。

問1 県では、「振り込み詐欺」をはじめとする「特殊詐欺」に代え、「電話d e 詐欺」の名称を用いています。あなたは、この名称を知っていますか。（は1つ）

<図表1 - 1> 名称の認知度



「電話d e 詐欺」の名称を知っているか聞いたところ、「知っている」(55.5%)が5割台半ばとなっている。

一方、「知らない」(42.2%)は4割を超えている。(図表1 - 1)

【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“夷隅地域”(88.0%)が約9割、“安房地域”(85.7%)が8割台半ば、“山武地域”(74.0%)が7割台半ば、“海匝地域”(72.2%)が7割を超えて高くなっている。

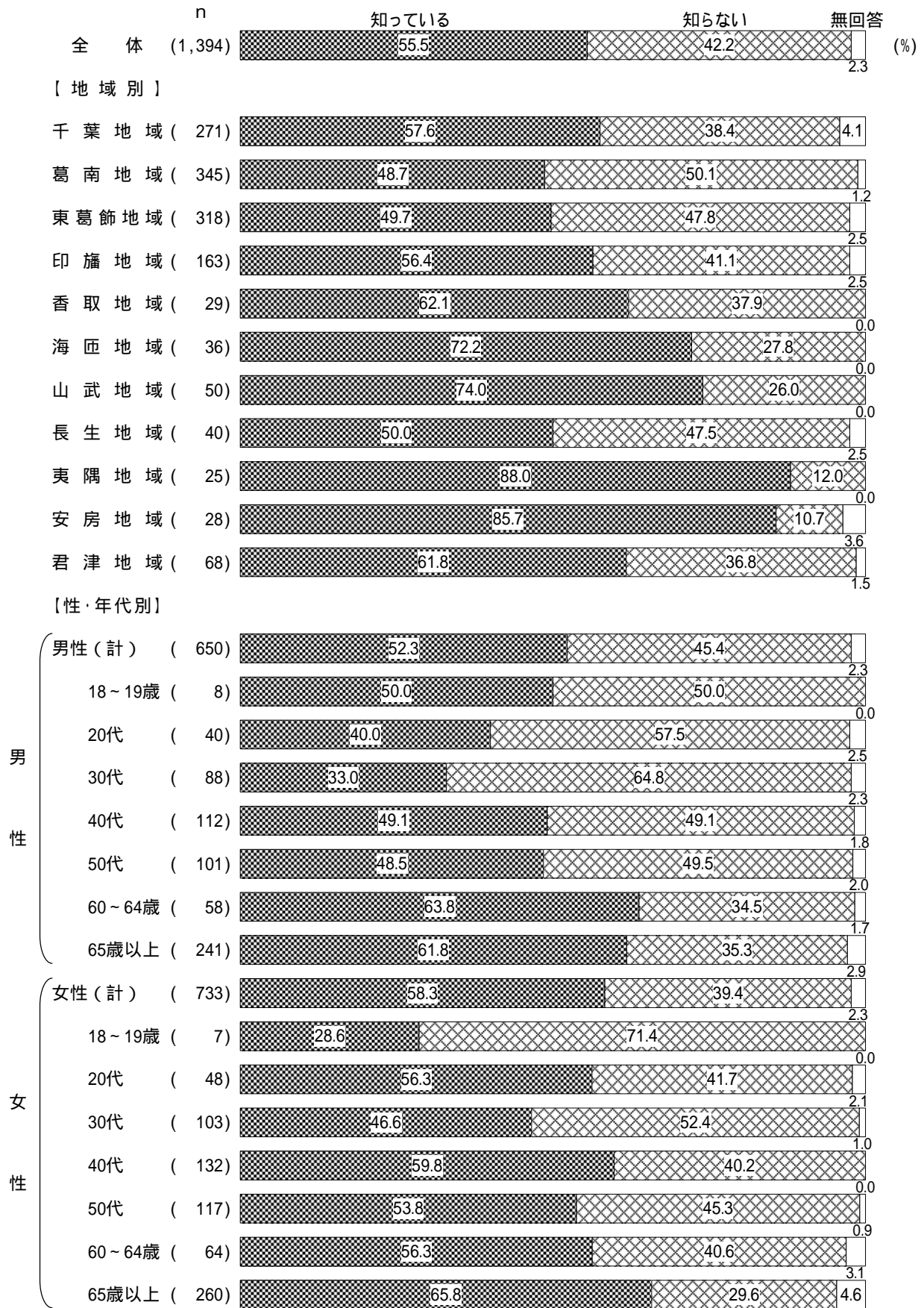
一方、「知らない」は“葛南地域”(50.1%)が5割、“東葛飾地域”(47.8%)が約5割で高くなっている。(図表1 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は男性の60～64歳(63.8%)と女性の65歳以上(65.8%)が6割台半ば、男性の65歳以上(61.8%)が6割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」は男性の30代(64.8%)が6割台半ば、男性の20代(57.5%)が約6割、女性の30代(52.4%)が5割を超えて高くなっている。(図表1 - 2)

<図表1 - 2> 名称の認知度 / 地域別、性・年代別

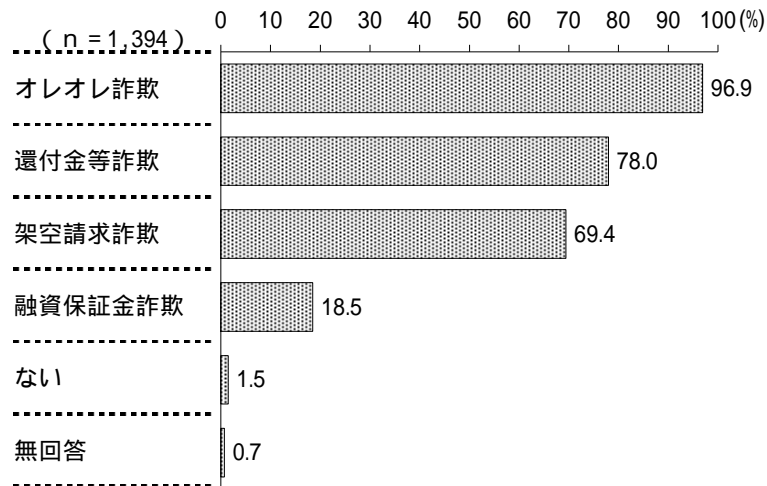


（２）電話d e 詐欺の手口に対する知識

「オレオレ詐欺」が9割台半ば

問2 電話d e 詐欺のうち、あなたの知っている手口はどれですか。（はいくつでも）

<図表1 - 3> 電話d e 詐欺の手口に対する知識（複数回答）



電話d e 詐欺のうち、知っている手口を聞いたところ、「オレオレ詐欺」（96.9%）が9割台半ばで最も高く、以下、「還付金等詐欺」（78.0%）、「架空請求詐欺」（69.4%）、「融資保証金詐欺」（18.5%）が続く。（図表1 - 3）

【地域別】

地域別にみると、「還付金等詐欺」は“長生地域”（87.5%）が約9割、“千葉地域”（83.8%）が8割台半ばで高くなっている。（図表1 - 4）

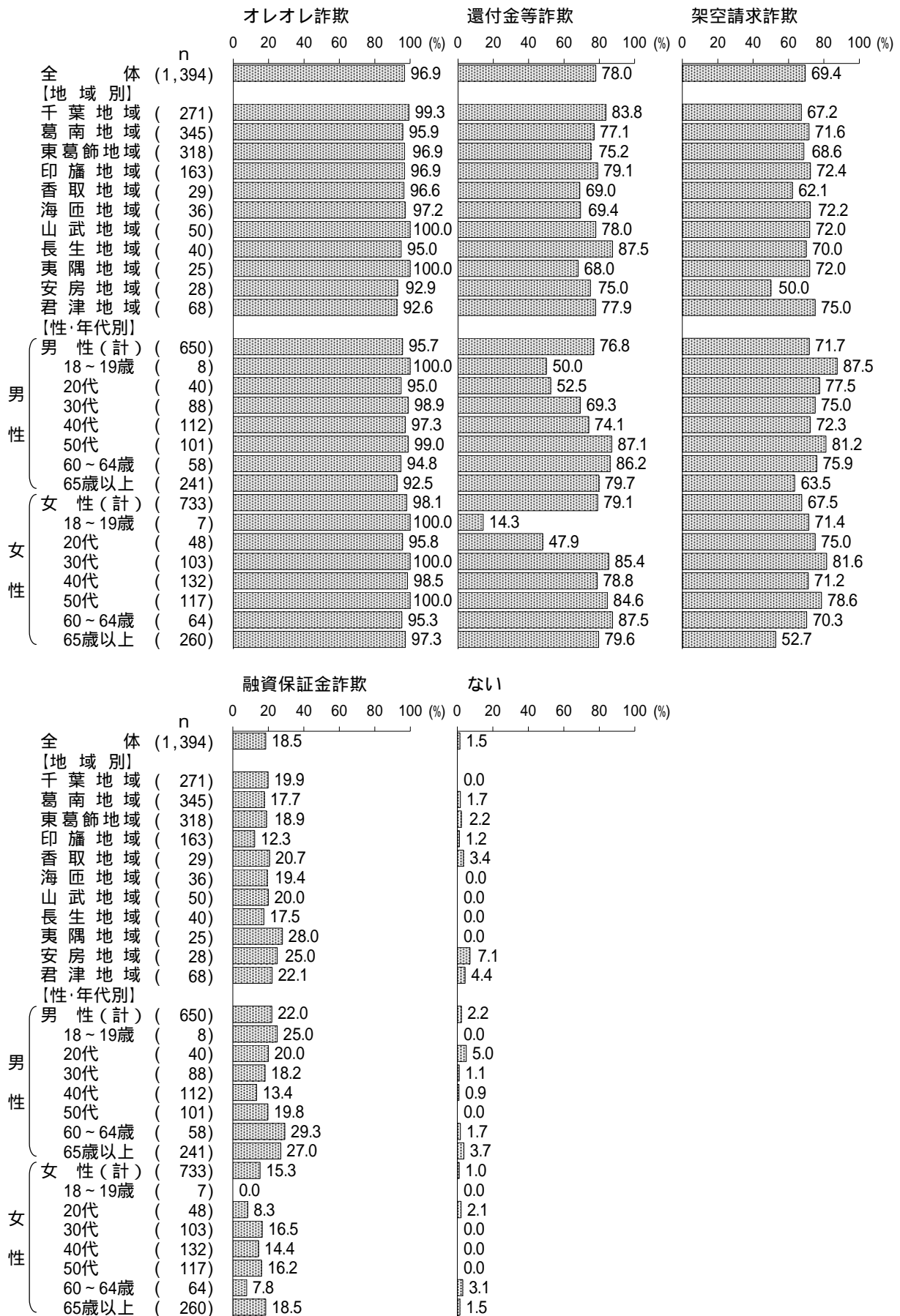
【性・年代別】

性・年代別にみると、「還付金等詐欺」は男性の50代（87.1%）と女性の60～64歳（87.5%）が約9割で高くなっている。

「架空請求詐欺」は男性の50代（81.2%）と女性の30代（81.6%）が8割を超えて高くなっている。

「融資保証金詐欺」は男性の60～64歳（29.3%）、65歳以上（27.0%）が約3割で高くなっている。（図表1 - 4）

<図表1 - 4> 電話de詐欺の手口に対する知識（複数回答）/地域別、性・年代別

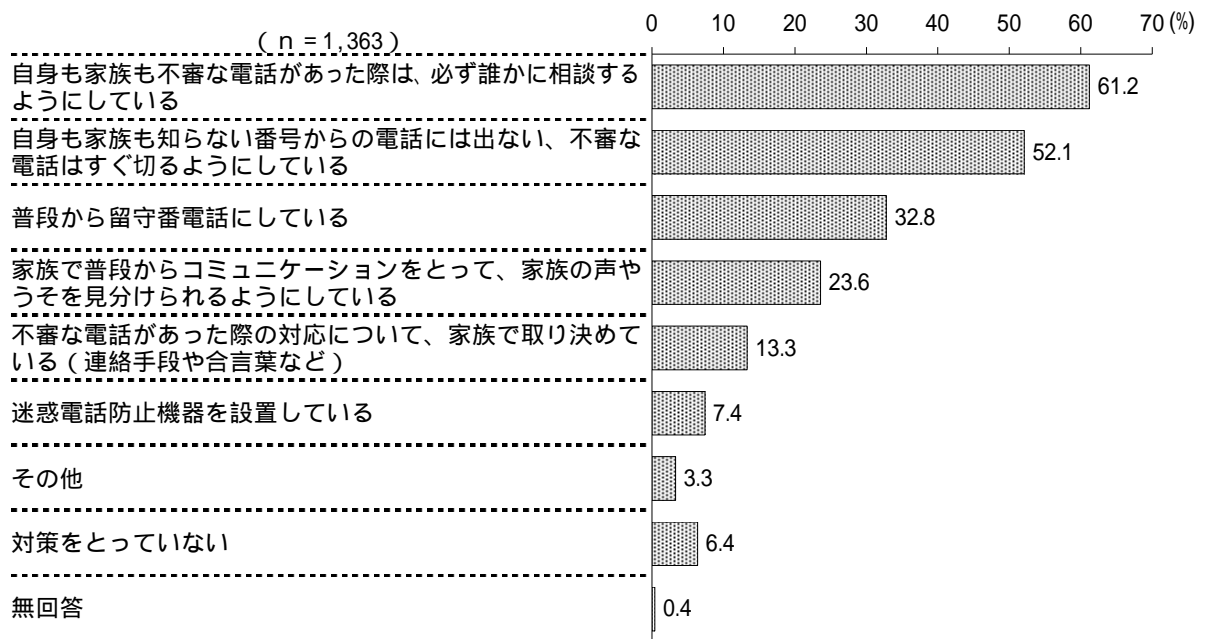


（3）電話 d e 詐欺への対策

「自身も家族も不審な電話があった際は、必ず誰かに相談するようにしている」が6割を超える

（問2で「オレオレ詐欺」、「還付金等詐欺」、「架空請求詐欺」、「融資保証金詐欺」とお答えの方に）
 問3 知っている手口に遭った場合に、あなたがとっている、またはとろうと考えている対策はありますか。（はいいくつでも）

<図表1-5> 電話 d e 詐欺への対策（複数回答）



電話 d e 詐欺の手口を知っていると答えた1,363人を対象に、知っている手口に遭った場合に、あなたがとっている、またはとろうと考えている対策を聞いたところ、「自身も家族も不審な電話があった際は、必ず誰かに相談するようにしている」（61.2%）が6割を超えて最も高く、以下、「自身も家族も知らない番号からの電話には出ない、不審な電話はすぐ切るようにしている」（52.1%）、「普段から留守番電話にしている」（32.8%）、「家族で普段からコミュニケーションをとって、家族の声やうそを見分けられるようにしている」（23.6%）が続く。（図表1-5）

【地域別】

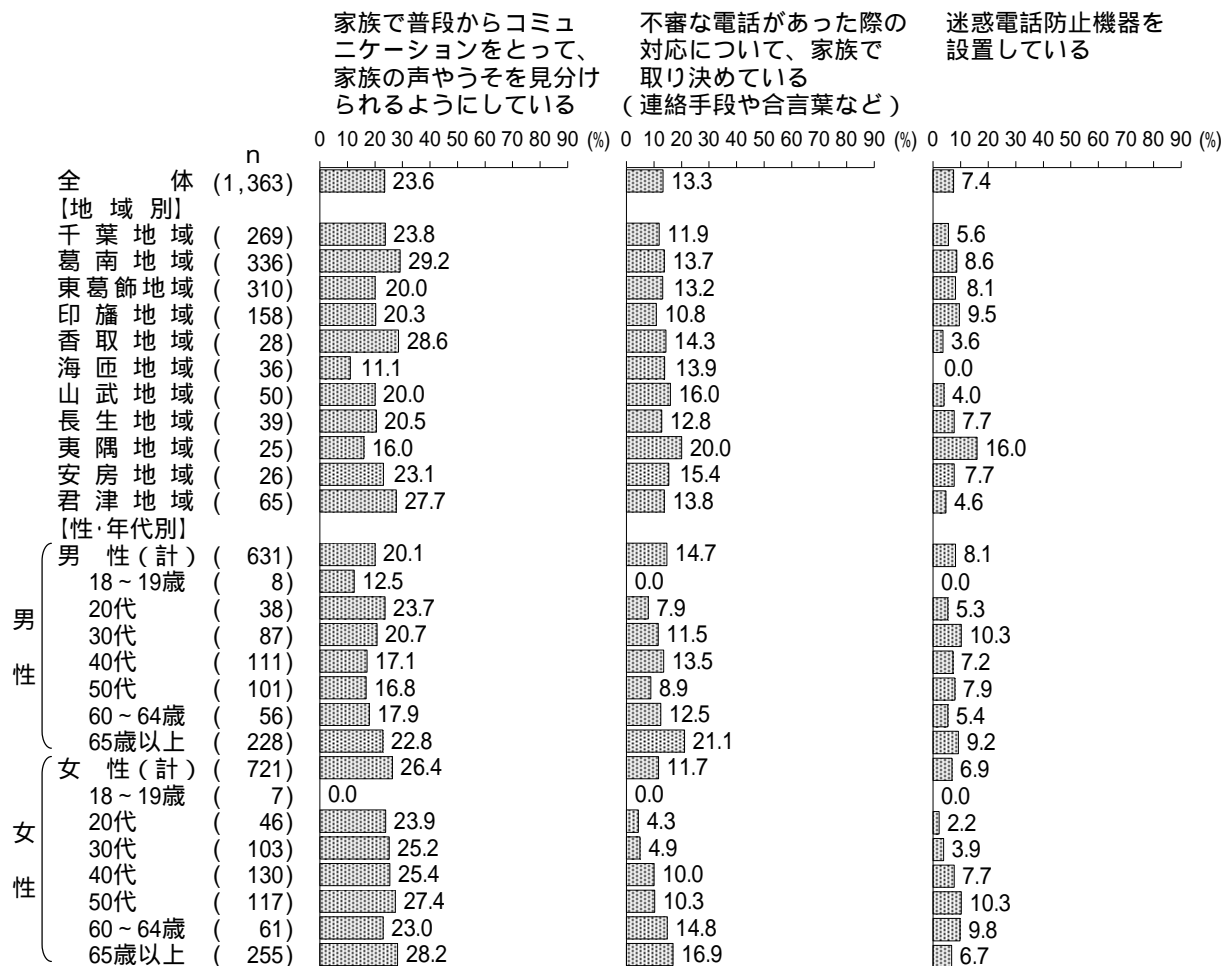
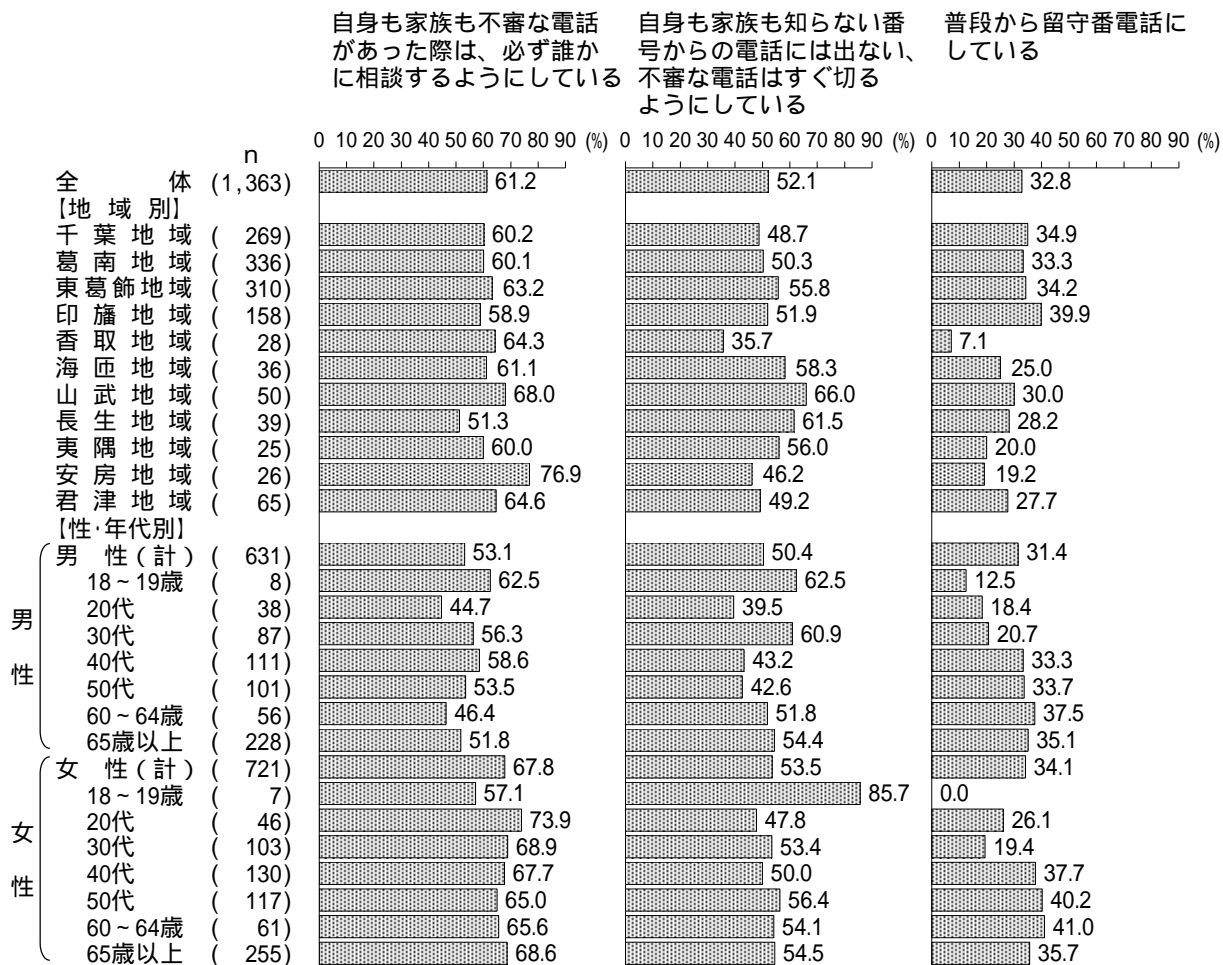
地域別にみると、「自身も家族も知らない番号からの電話には出ない、不審な電話はすぐ切るようにしている」は“山武地域”（66.0%）が6割台半ばで高くなっている。（図表1-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自身も家族も不審な電話があった際は、必ず誰かに相談するようにしている」は女性の20代（73.9%）が7割台半ば、女性の30代（68.9%）、40代（67.7%）、65歳以上（68.6%）が約7割で高くなっている。

「不審な電話があった際の対応について、家族で取り決めている（連絡手段や合言葉など）」は男性の65歳以上（21.1%）が2割を超えて高くなっている。（図表1-6）

<図表1 - 6> 電話de詐欺への対策（複数回答）/地域別、性・年代別（上位6項目）



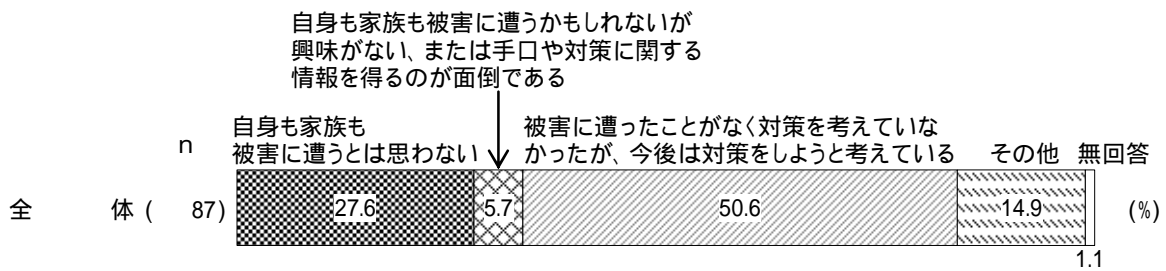
（４）電話d e 詐欺への対策を取っていない理由

「被害に遭ったことがなく対策を考えていなかったが、今後は対策をしようと考えている」が5割

（問3で「対策をとっていない」とお答えの方に）

問4 あなたが、対策をとっていない理由は何ですか。（ は1つ）

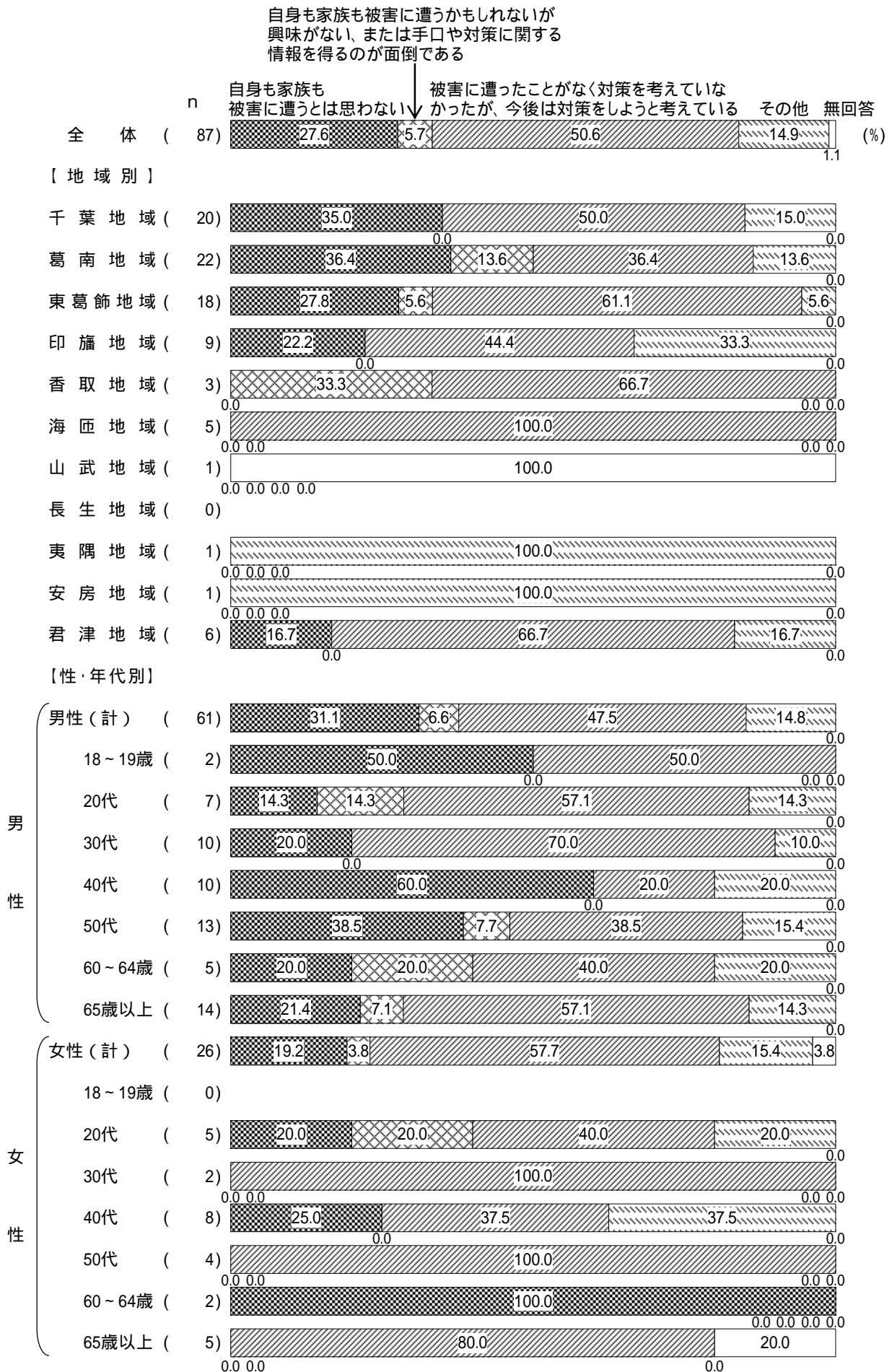
<図表1 - 7> 電話d e 詐欺への対策を取っていない理由



電話d e 詐欺への「対策をとっていない」と答えた87人を対象に、対策をとっていない理由を聞いたところ、「被害に遭ったことがなく対策を考えていなかったが、今後は対策をしようと考えている」(50.6%)が5割で最も高く、以下、「自身も家族も被害に遭うとは思わない」(27.6%)、「自身も家族も被害に遭うかもしれないが興味がない、または手口や対策に関する情報を得るのが面倒である」(5.7%)が続く。(図表1 - 7)

サンプル数が少ない(有意差がない)ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。(12ページ「報告書の見方(4)」を参照)

<図表1 - 8> 電話de詐欺への対策を取っていない理由/地域別、性・年代別



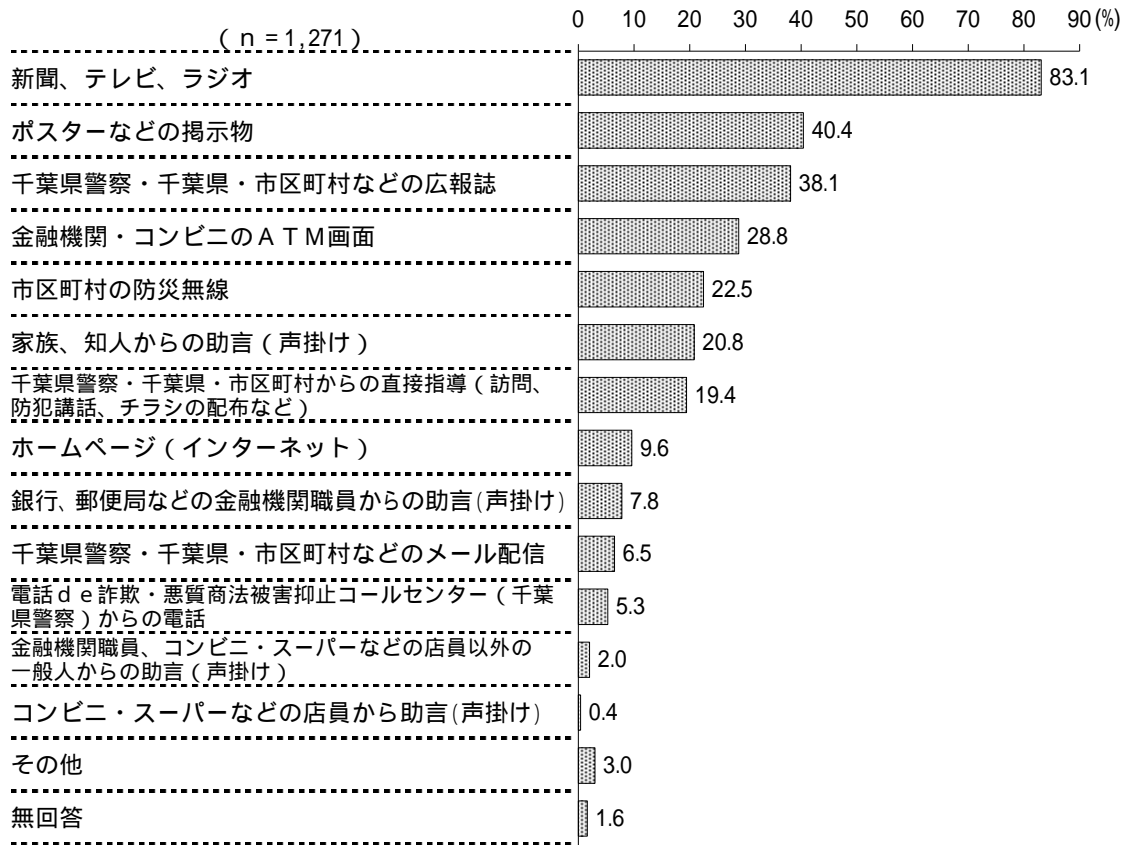
（５）電話d e 詐欺の手口を知った媒体

「新聞、テレビ、ラジオ」が8割を超える

（問3で「対策をとっていない」以外とお答えの方に）

問5 あなたは、どのような媒体で電話d e 詐欺の手口を知りましたか。（はいくつでも）

<図表1 - 9> 電話d e 詐欺の手口を知った媒体（複数回答）



電話d e 詐欺への対策をとっていると答えた1,271人を対象に、どのような媒体で電話d e 詐欺の手口を知ったか聞いたところ、「新聞、テレビ、ラジオ」（83.1%）が8割を超えて最も高く、以下、「ポスターなどの掲示物」（40.4%）、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」（38.1%）、「金融機関・コンビニのATM画面」（28.8%）、「市区町村の防災無線」（22.5%）が続く。

（図表1 - 9）

【地域別】

地域別にみると、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」は“安房地域”（64.0%）が6割台半ばで高くなっている。

「市区町村の防災無線」は“夷隅地域”（65.2%）が6割台半ば、“安房地域”（56.0%）が5割台半ば、“海匝地域”（51.6%）が5割を超えて高くなっている。（図表1 - 10）

【性・年代別】

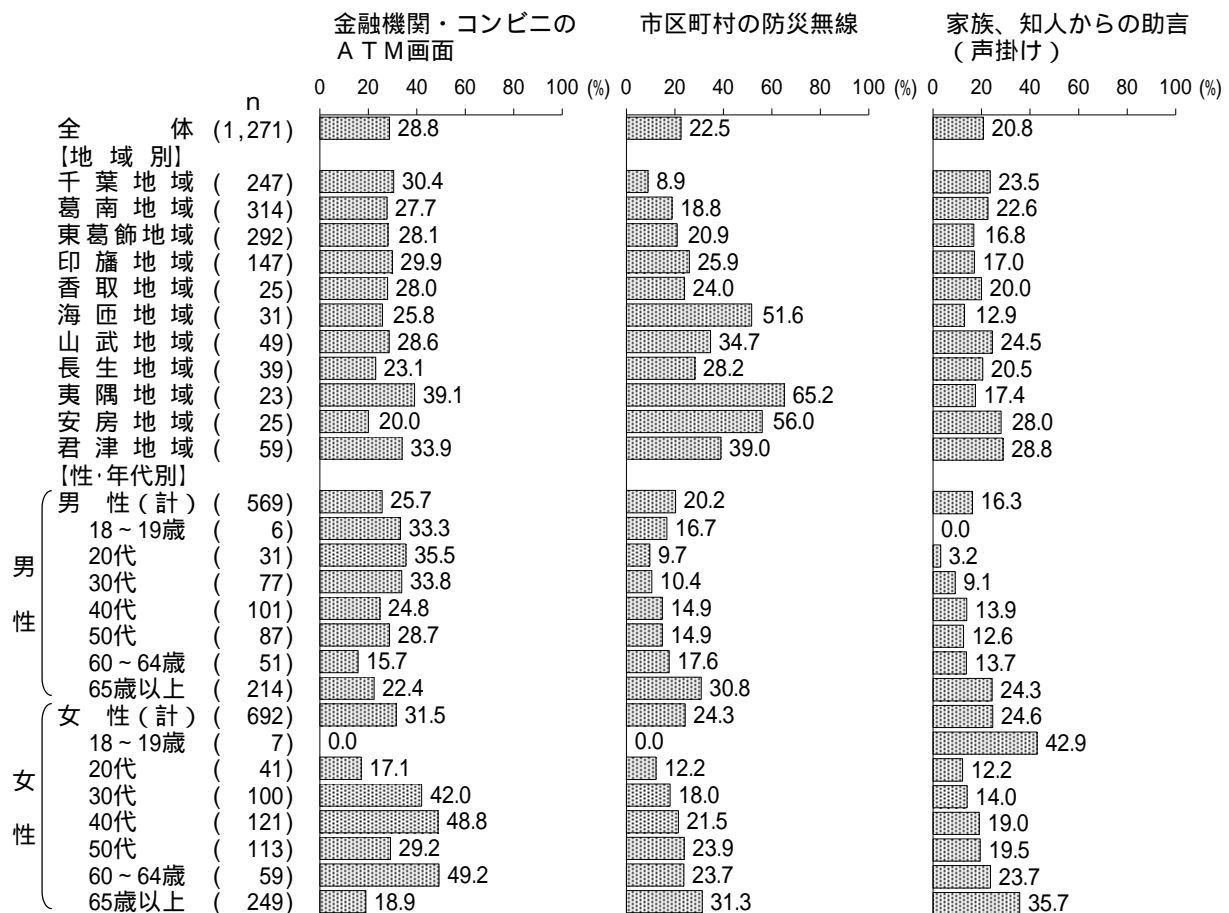
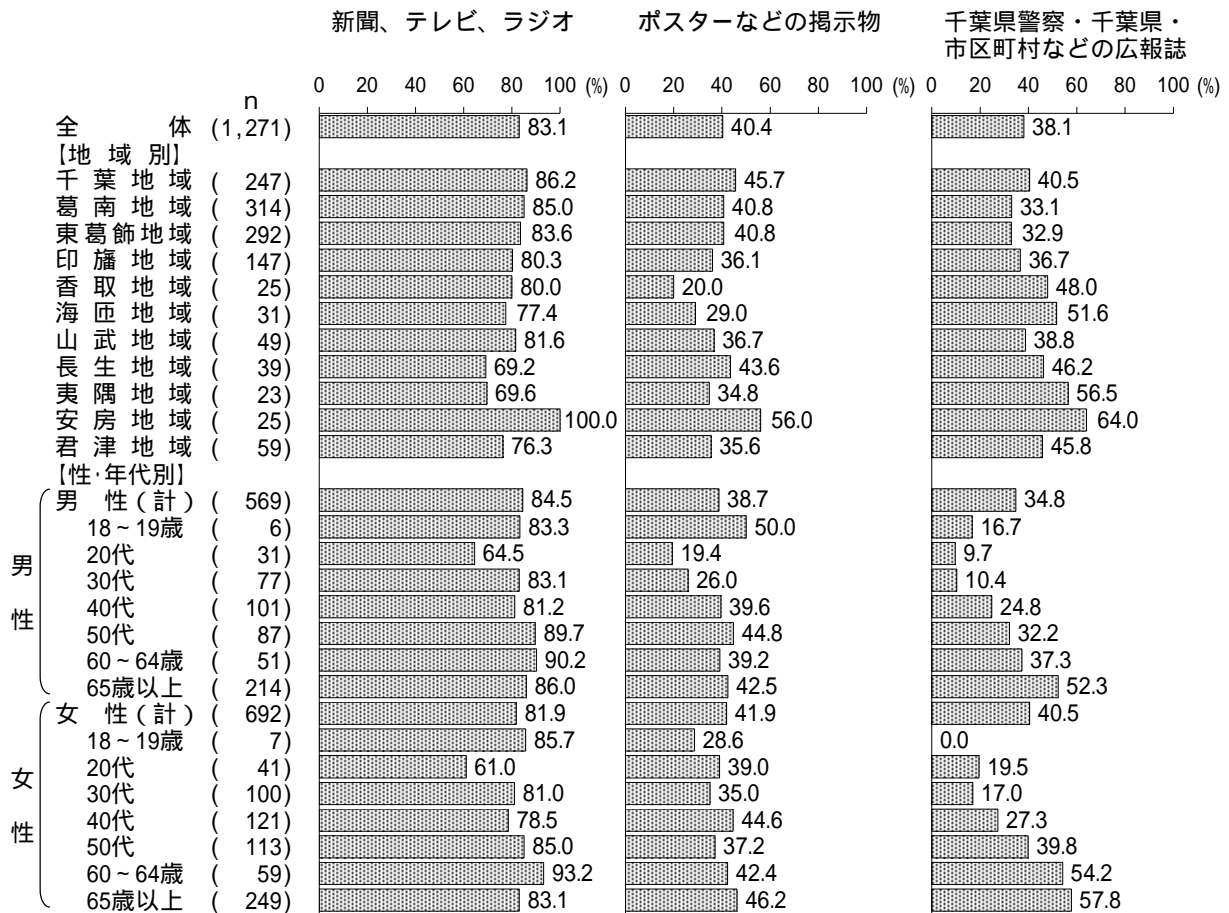
性・年代別にみると、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」は女性の65歳以上（57.8%）が約6割、女性の60～64歳（54.2%）が5割台半ば、男性の65歳以上（52.3%）が5割を超えて高くなっている。

「金融機関・コンビニのATM画面」は女性の40代（48.8%）、60～64歳（49.2%）が約5割、女性の30代（42.0%）が4割を超えて高くなっている。

「市区町村の防災無線」は女性の65歳以上（31.3%）が3割を超え、男性の65歳以上（30.8%）が3割で高くなっている。

「家族、知人からの助言（声掛け）」は女性の65歳以上（35.7%）が3割台半ばで高くなっている。（図表1 - 10）

<図表1 - 10> 電話de詐欺の手口を知った媒体（複数回答）/地域別、性・年代別（上位6項目）



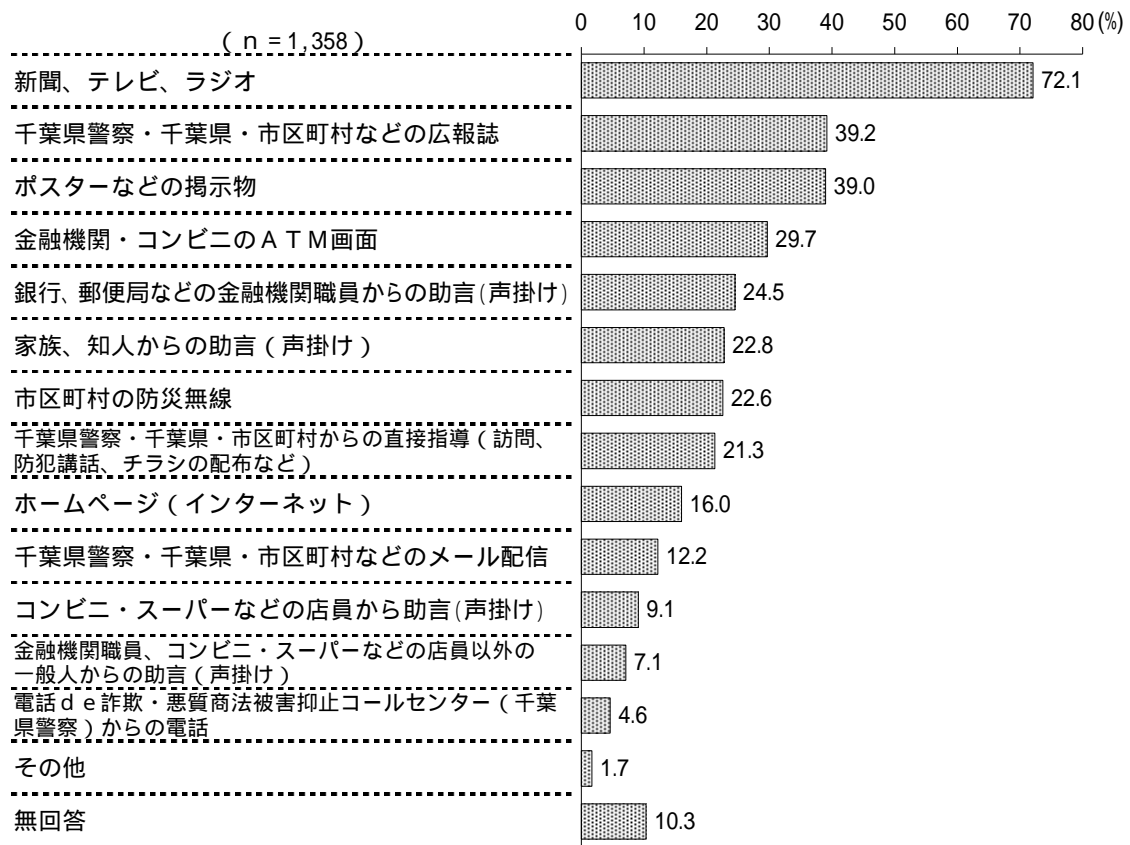
（6）電話 d e 詐欺の手口や対策に関する情報を提供してほしい媒体

「新聞、テレビ、ラジオ」が7割を超える

（問2で「ない」とお答えの方、問4、問5をお答えの方に）

問6 あなたは、自身やご家族が被害に遭わないため、これらの詐欺の手口や対策に関する情報を、今後どのような媒体で得たいと思いますか。（はいいくつでも）

<図表1-11> 電話 d e 詐欺の手口や対策に関する情報を提供してほしい媒体（複数回答）



電話 d e 詐欺の手口を知っている、あるいは電話 d e 詐欺への対策について回答した1,358人を対象に、電話 d e 詐欺の手口や対策に関する情報を、今後どのような媒体で得たいと思うか聞いたところ、「新聞、テレビ、ラジオ」(72.1%)が7割を超えて最も高く、以下、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」(39.2%)、「ポスターなどの掲示物」(39.0%)、「金融機関・コンビニのATM画面」(29.7%)が続く。(図表1-11)

【地域別】

地域別にみると、「銀行、郵便局などの金融機関職員からの助言(声掛け)」は「海匠地域」(38.9%)が約4割で高くなっている。(図表1-12)

【性・年代別】

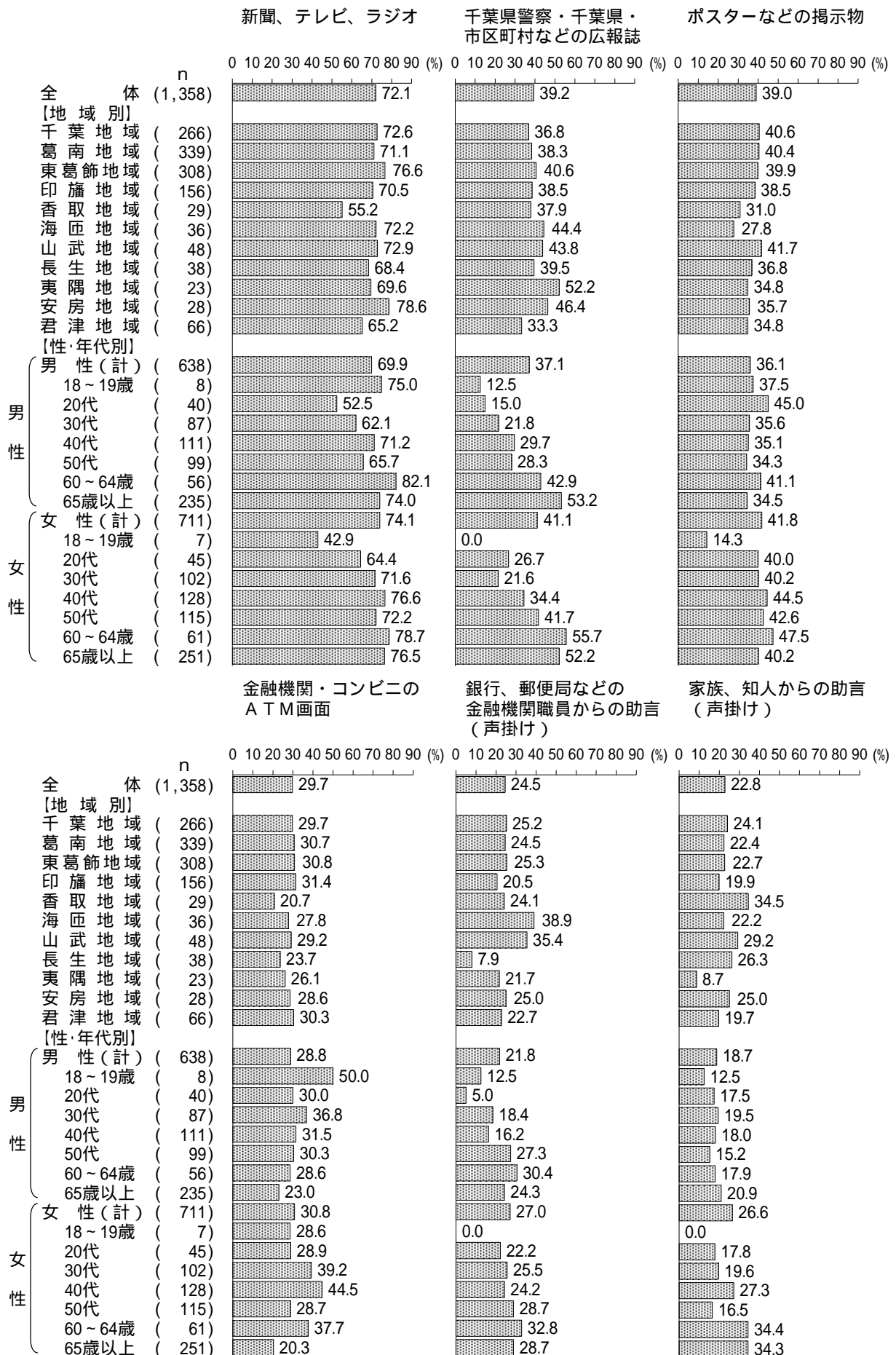
性・年代別にみると、「千葉県警察・千葉県・市区町村などの広報誌」は女性の60～64歳(55.7%)が5割台半ば、男性の65歳以上(53.2%)と女性の65歳以上(52.2%)が5割を超えて高くなっている。

「金融機関・コンビニのATM画面」は女性の40代(44.5%)が4割台半ばで高くなっている。

「家族、知人からの助言(声掛け)」は女性の60～64歳(34.4%)、65歳以上(34.3%)が3割台半ばで高くなっている。(図表1-12)

<図表1 - 12> 電話de詐欺の手口や対策に関する情報を提供してほしい媒体（複数回答）

/ 地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「電話d e 詐欺に関する県民の意識について」やここまでの質問（問1～問6）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、239人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「電話d e 詐欺に関する県民の意識」の自由回答（抜粋）

詐欺は人の弱みにつけこんだ卑怯な犯罪です。受け取り人を装って摘発するのも良い手段だと思います。（男性、20代、海匝地域）

みやぞんさんのCMの合言葉は良いアイデアだと思います。ただ人を疑わないお年寄りや知的障害の方を守る方法があると良いと思います。社会的弱者の方々はいろいろ損ばかりしている気がする。（女性、50代、東葛飾地域）

これだけ電話d e 詐欺について注意喚起しているにもかかわらず被害が減らないのはなぜなのか。手口も巧妙になってきているからなのか。（女性、40代、千葉地域）

電話を受けた人がだまされたふりをして詐欺師をつかまえたい時のノウハウを教えてください。手順をまちがうと危険なので。（女性、60～64歳、君津地域）

いろいろな場面での啓発活動はありますが、ややマンネリ化しているような気がします。また、自分だけは被害に合わないという気持ちがある人が多いせいか、個人の危機管理に問題がある気がします。（女性、60～64歳、印旛地域）

NHK首都圏ネットワークで振り込め詐欺について放送していますが、千葉テレビや民報各社も同時刻ぐらいに放送する様にしたらどうでしょうか。（男性、65歳以上、印旛地域）

詐欺の手口は日々変わります。最新の手口の公表や迷惑電話防止装置の配布に力を入れて欲しいです。今後は、東京オリンピックや元号改変による、手続きの詐欺が増加すると予想します。（男性、30代、千葉地域）

敬老会での警察の方の寸劇はとてもよかったです。色々な事がよくわかりました。（女性、65歳以上、印旛地域）

今までも広く広報誌等で呼びかけている。しかしその場面になると、人はどうして詐欺に反応してしまうのか。人の善意につけこんでいるのが許せません。その時の心理状況、事例等具体的にあげて、講演等で話してほしい。（女性、65歳以上、山武地域）

世間的には“オレオレ詐欺”が最も認知度の高い名称なので、その名称を変更するのを感じない。“オレオレ”以外の詐欺も包括した名称としたい考えも理解できるが、既に電話で行われる詐欺全般が“オレオレ詐欺”と認知されているのではないかと。（男性、30代、印旛地域）